安全運転を呼びかける

No.3

交通安全テント村・9/24

庄原地区交通安全協会高野分会が、高野保健福祉センター駐車場で交通事故防止を目的に「秋の全国交通安全運動 交通安全テント村」を開催し、関係者約 40 人が参加しました。

開会セレモニーでは、高野小学校、高野中学校の児童生徒に募集した交通安全標語の内、特に優秀な作品の応募者一人一人に竹藤健治分会長が感謝状を贈呈し、参加者から温かい拍手が送られました。

またセレモニー終了後は、庄原警察署の協力の下、参加者が会場前の県道を走るドライバーに交通安全への思いを込めた啓発用品を手渡し、安全運転を呼び掛けました。



▲交通安全標語の感謝状を受ける高野小・中学生

リズムに乗って楽しく運動

No.2

リズムトレーニング・9/7

総領小学校児童 38 人が、里山総領体育館でリズムトレーニングを行いました。リズムトレーニングとは、音楽に合わせてさまざまなステップを踏み、リズム感や身体を適切に動かす力を養う運動です。

講師に原田さくらさんを迎え、児童がリクエストした曲に合わせ、手と足で異なる動きをする、足を交差させて跳ぶなどのステップに取り組み、最後に、これまでに習った動きを組み合わせた課題に挑戦し、グループで教え合いながら全員で１つの動きを完成させました。

参加した児童は「楽しく運動ができた」「あっという間に時間が過ぎた」と話しました。



▲左を向いてリズムよく跳ぶ児童

実りの秋を体験

No.5

稲刈り体験・10/13

比和小学校５・６年生が、三河内の田んぼで稲刈り体験を行いました。

当日は、株式会社「宝郷」の皆さんから、稲刈りの方法を教わり、春に植えて実った稲穂も刈り取りました。

初めて鎌を持って稲刈りを体験した児童もこつをつかんで、楽しみながら稲刈りができました。コンバインを使った機械刈りも体験でき、手刈りの苦労や機械化による労働の変化も知ることができました。

普段自分たちが食べる米を、田植えから稲刈りまで体験でき「楽しかった」「農家の皆さんに感謝したい」などの感想があがる、貴重な体験となりました。



▲稲を刈る子どもたち

みんなで守ろう、交通安全

No.4

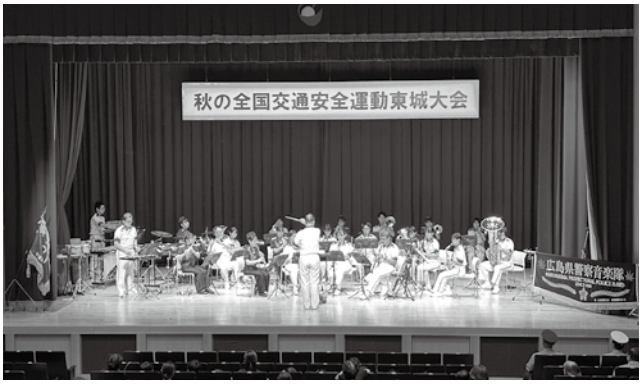
秋の全国交通安全運動東城大会・9/30

庄原市東城文化ホールで「秋の全国交通安全運動東城大会」が開催され、280 人の観客が訪れました。

当日は、小奴可こども園の園児による元気いっぱいのダンスや、田森保育所の園児による交通安全宣言が披露された後、広島県警察音楽隊による華やかな演奏が行われました。

演奏では「太陽にほえろ」や「涙そうそう」といった名曲に加え、「森のくまさん」などの童謡メドレー、さらに MILK の「爆裂愛してる」など、多彩なプログラムで会場を盛り上げました。

観客からは「地域の交通安全意識を高める意義のある大会となった」という声が聞かれました。



▲警察音楽隊による演奏